

延岡市情報政策推進計画 概要版 ～のべおか DX 戦略～

計画策定の背景と趣旨

昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大のなかで、国や地方公共団体においては、デジタル化の遅れや人材不足、不十分なシステム連携に伴う行政の非効率などの課題が顕在化するとともに、仕事や生活スタイルが「リモート」形式へと急速に変化しております。

また、デジタル化が進むことによって、行政サービスや商取引などの経済活動も時間や場所に制約されず、一人ひとりの働き方や生き方に応じて、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション（以下「DX」という。）が求められています。

こうした中、国や県のデジタル化に関する方針等を勘案しながら、更なる官民連携の推進等による地域課題の解決やDXの推進により、地域住民に寄り添った行政サービスの提供と、効率的・効果的な行政運営を図るため、本計画を策定し、本市のデジタル化を計画的に推進します。

計画の位置付け

本計画は「第6次延岡市長期総合計画（後期計画）」を上位計画とし、第2期延岡新時代創生総合戦略や第8次行財政改革大綱と連動して、本市が目指す都市像である「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまち のべおか」の実現に向け、ICTを利活用し、DXを推進するためのプロジェクト及び基本施策を定めるとともに、具体的な個別施策をアクションプランとして定めます。

また、本計画は、「官民データ活用推進基本法」第9条第3項に基づき、市町村の努力義務として策定する「官民データ活用推進計画」としても位置付け、国や県の施策等を反映し、整合性を図るものとします。

計画期間

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5カ年とします。

なお、アクションプランについては、事業優先度や進捗状況、効果などについて毎年検証を行い、社会情勢や地域ニーズの変化などを考慮しながら、事業の追加や廃止等について適宜協議を行います。

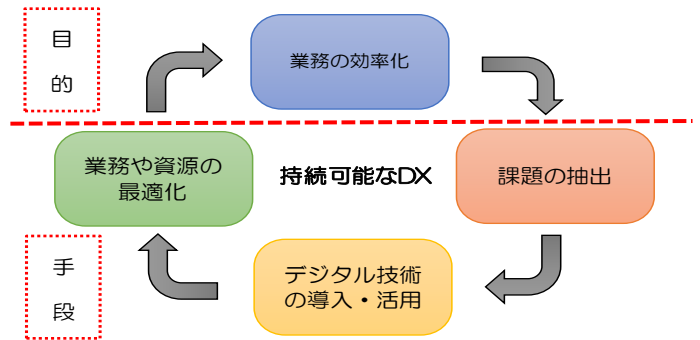
関連計画及び計画期間	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
第6次延岡市長期総合計画 （後期基本計画）	→				
延岡市情報政策推進計画 基本計画	→				
延岡市情報政策推進計画 アクションプラン	→	→	→	→	→

本市が取組む DX

本市が取組む DX は、単にデジタル技術を導入することが目的ではなく、業務の効率化という目的に対して、BPR に取組むことにより、業務等の切り分けを行い、課題を抽出したうえで、データの活用やデジタル技術を導入し、資源（ヒト・カネ・ジカン等）の業務への適正な配分や組織の見直しを図り、この最適化により生み出される資源を新たな業務の効率化や市民サービスの構築に振り向けることで、持続可能な DX のサイクルを循環させます。

従って、本市が取組む DX を次のとおり定義し、本市における市民生活や企業活動など様々な分野で DX を展開し、「市民一人ひとりが主役」のまちづくりを展開していきます

デジタル技術を活用した業務や人的資源の最適化に基づく持続可能な DX
により市民一人ひとりが主役のまちづくりを展開



DX 推進の目的と目指すべきビジョン

本市は、喫緊の課題である少子高齢化や人口減少、担い手の確保、財政状況の硬直化のほか、激甚化する災害や想定外の新型コロナウイルスの感染拡大、SDGs という世界的な目標達成への貢献など、新たな時代の潮流への対応において、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

その中で、本市の課題への対応や、一人ひとりの市民のニーズに対応したサービスを提供していく手段として、デジタル技術を活用し DX を推進することは大変有効であると考えられます。

このため、本計画における DX 推進の目的については、国や県の情報政策の動向、本市の現状と課題等を踏まえ、都市像の実現を DX の推進により目指し、市民一人ひとりのニーズに合った行政サービスの提供を行うことで、市民が主体的に考え行動できる市民が主役のまちづくりや、安心・安全で、豊かさや利便性を実感できるデジタル社会の実現を目指します。

従って、本計画における目的と目指すべきビジョンを次のとおり掲げます。

【目的】

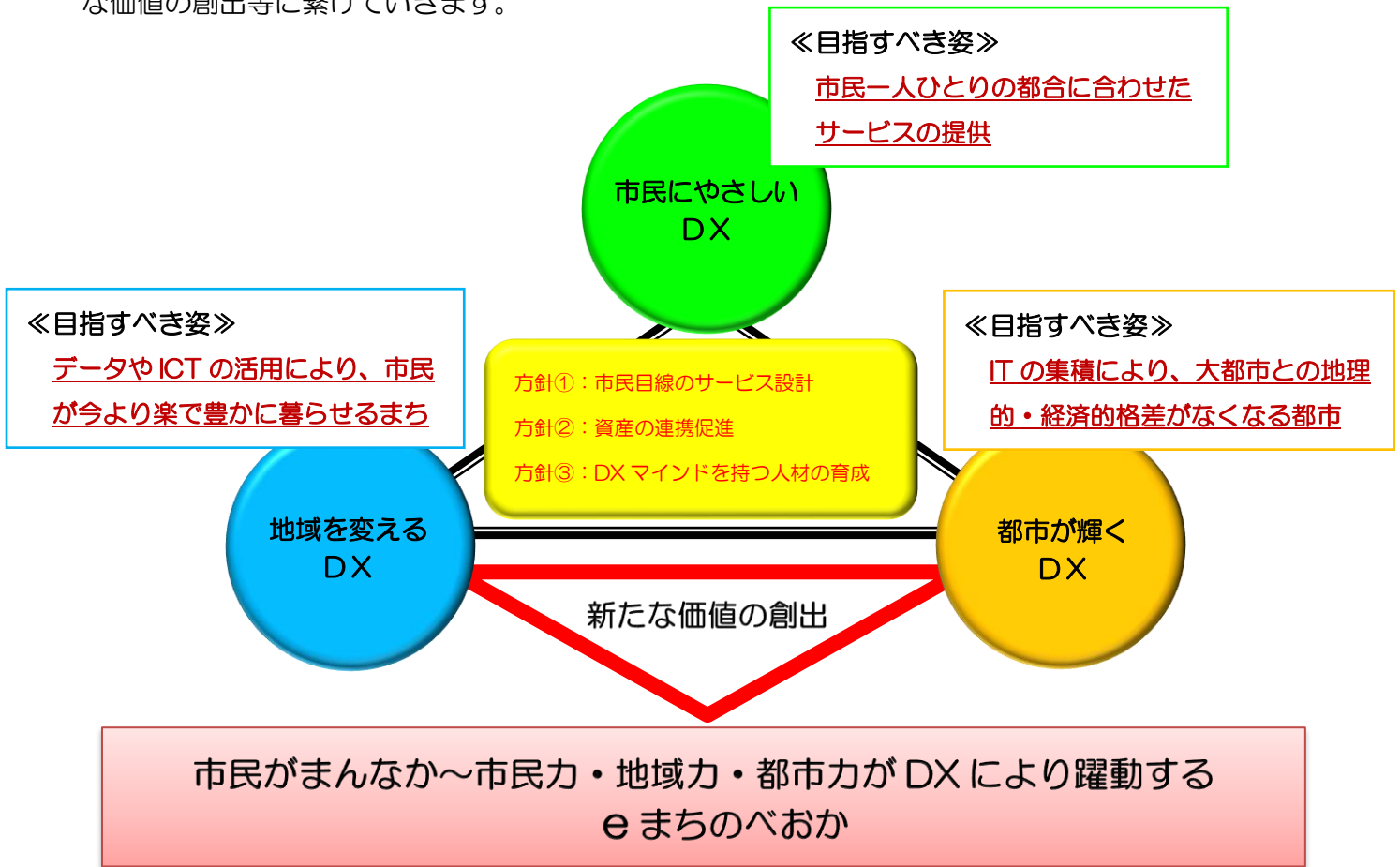
長期総合計画の都市像の実現
「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまち のべおか」

【目指すべきビジョン】

市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が DX により躍動する
eまちのべおか

各プロジェクトと横断的方針

本市のDXを推進するための方向性として、次のとおり3つのプロジェクトを定めるとともに、それらを実行していくための各施策に共通する横断的な方針を示すことにより、取組の実効性を高め、新たな価値の創出等に繋げていきます。



横断的方針① 市民目線のサービス設計

利用者へのサービス提供後までの一連の流れ（エンドツーエンド）を意識するとともに、一度提出した住所や氏名等の情報を、再度提出する必要がない（ワンスオンリー）ようにすることで、市民が利便性や安心・安全を実感できるサービスの構築・設計に努めます。

横断的方針② 資産の連携促進

各分野に蓄積されたデータやノウハウ、官民連携等の資産を連携させることにより、新たなサービスの構築を図ります。

横断的方針③ DXマインドを持つ人材の育成

各種研修に加え、複業人材を含めた民間人材との連携・交流により、官・民それぞれにおけるDXマインドを持つ人材の育成を図ります。

施策体系

本計画における3つのプロジェクトである「市民にやさしいDX」、「地域を変えるDX」、「都市が輝くDX」のそれぞれに紐づく各種「基本施策」及び「個別施策」は以下のとおりとし、これらの各種施策を展開することで、本計画が目指すビジョンの実現を図ります。

目指すべきビジョン	市民がまんなか～市民力・地域力・都市力がDXにより躍動する eまちのべおか	
プロジェクト（目指すべき姿）	基本施策（目標）	個別施策
市民にやさしいDX 市民一人ひとりの都合に合わせてサービスの提供	市民目線のデジタル化 市民一人ひとりの都合に合わせて 市役所	<ul style="list-style-type: none"> ■行政手続のオンライン化 ■マイナンバーカードの普及・活用促進 ■すべての世代にやさしいデジタル化の推進
	市民目線の情報発信 知りたいことがすぐわかる	<ul style="list-style-type: none"> ■情報発信サービスの整備・拡充 ■オープンデータの公開促進
	業務環境のデジタル化 デジタル化でみんなが楽になる市役所	<ul style="list-style-type: none"> ■情報システムの標準化・共通化 ■ICTの導入による業務効率化 ■情報セキュリティ対策の強化 ■情報システムの最適化 ■テレワークの推進
	DXマインドを持つ人材の確保・育成 市民の幸せのためにデジタルを活かす 市役所	<ul style="list-style-type: none"> ■民間人材活用等によるIT人材の確保 ■IT研修の推進 ■情報活用能力の向上
地域を変えるDX データやICTの活用により、 市民が今より楽で豊かに 暮らせるまち	暮らしのデジタル化 デジタルの力でもっと安心・安全で 健康に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ■防災に係るデジタル化の推進 ■交通に係るデジタル化の推進 ■医療・介護に係るデジタル化の推進 ■子育てに係るデジタル化の推進 ■選挙に係るデジタル化の推進
	教育のデジタル化 教育の格差をなくし、全ての子どもが 活躍できるまち	<ul style="list-style-type: none"> ■教育に係るデジタル化の推進
	産業のデジタル化 デジタル化で地域産業が活性化 していくまち	<ul style="list-style-type: none"> ■産業に係るデジタル化の推進
都市が輝くDX IT集積により、大都市との地理的・ 経済的格差がなくなる都市	経済基盤のデジタル化 キャッシュレスで便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ■キャッシュレス化の推進
	デジタル基盤整備の推進 人と人がつながるまち	<ul style="list-style-type: none"> ■情報通信基盤の整備・活用 ■IT関連企業誘致環境の整備・拡充

